

従来のプリンタサービス廃止と新しいオンデマンドプリントサービスについて

【ご意見・ご要望】（投稿日：2018年4月12日）

2018年3月に、情報環境更新に伴って、無料印刷枚数が定められていた従来のプリンタサービスが廃止され、一部の施設（北部生協会館、文学部校舎、時計台記念館、附属図書館、メディアセンター南館、吉田ショップ、南部生協会館、人間健康科学科校舎）にはFuji Xeroxが提供する新しいオンデマンドプリントサービスが導入されました。

このような変更には、もちろん理解できる点があります。しかし問題となる点も考えられます。理解できる点、問題となる点それぞれについて以下にまとめます。

1つ目は印刷が有料になることです。そもそもこの変更気づいたのは、友人が激怒していたからです。

理解できる点としては、レポートの提出は電子的に行うことも可能であることと、印刷することは資源と予算の無駄遣いだと考えられるということです。また、大学のコンピュータ端末を起動せずに印刷できる点は便利で、Bring Your Own Devices (BYOD) が進んでいる今、望ましい機能です。

一方、問題点は、レポートや授業資料の印刷を教員に求められることが未だにあるということです。本日受けた授業では、レポートを印刷するだけでなく、発表者に出席人数分の発表レジュメを印刷してくれるように求めていました。もちろん先生に無料印刷が廃止されたことを伝えて、先生にかわりに印刷してもらおうなどの対応を考えていただきましたが、このように先生方に周知されていないことも問題です。自分はプリンターを持っているのであまり不利益はありませんが、多くの友人はプリンターを持っていません。

そこで、短期的な解決策としては、各学部・研究科の教員に印刷をできるだけ求めないように周知していただくということです。

ただし、印刷を求める先生は合理的な理由を持っています。レポートをメールで提出させるとうまく送れなかったなどの対応に追われるなどを実際に仰っていました。

そこで、中期的には、学生に一定額のコピーカードを無償配布することです。今までは1年間に200枚でしたから、2000円が望ましいでしょう。

長期的には、今までのように学生アカウントを使って、プリント枚数を数えられるような

システムを導入することです。今の Fuji Xerox のオンデマンドプリントサービスは、大学全体で1つのIDしか発行できないのですが、だから無償印刷はできませんというのは順番が違うと思います。初めに無償印刷を廃止する前提で、業者を選定したのでしょうか。

2つ目は、プリンターの数が少なくなったことです。例えば吉田南総合図書館2階のOSLにはプリンターがなくなりました。確かに吉田ショップが近いので大丈夫だと判断されたのですが、不便になったことは確かです。薬学部では情報処理演習室がロッカー室に改装されてしまいました。

理解できる点は1つ目と同じです。一方、問題点は、急いで印刷したいときに、遠くまで移動する必要があることです。これに対しては、1つ目の学生の負担を減らす策を導入しつつ、プリンターを増やすことが求められるでしょう。

【回答】（回答日：2018年5月10日）

（情報環境機構）

ご意見・ご要望ありがとうございます。

新しい教育用コンピュータシステムでプリンタが廃止されることは、昨年6月末に部局長を通じて科目担当者への周知を依頼しております。また、プリンタ廃止に際して印刷環境を残さざるを得ない学部特有のご事情がある場合については、当該部局で印刷環境を用意して頂いており、教育的観点から印刷が必要な場合は、引き続き各教育プログラムを提供している学部・研究科でご対応頂くことになっています。

また、印刷そのものを代替する措置として、授業資料の提供や課題レポートの提出・返却をオンラインで行える学習支援システム PandA を稼働させ、KULASIS とも連携しております。情報環境機構としていたしましては、これらのサービスの活用を授業を担当する先生方に引き続き働きかけて参ります。

以上、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。